

# 磐城時報

日刊 第六十  
編輯 石城郡平町 田弘成  
印刷 石城郡平町 田弘成  
發行 石城郡平町 田弘成  
電話 一三三三  
代金 一月三圓 三月九圓 半年一七圓 一年三三圓  
廣告料 一行十文字 一月五圓 三月十圓 半年一七圓 一年三三圓  
日刊 (日曜、祭日) 休刊

## 平理髮組合で

### 一大改革の氣運

#### 来る組合長の選挙には 中堅人物から人選

比佐組合長不信任に因を發し絶の人々は寧ろ従來の組合に愛想を盡す内紛を續けてゐる平理髮組合をつかしてゐるのたゞとへ選ばるべき現業組合は前平理髮長伊藤氏も組合長に就任するやうな儀七氏が熱心に調停の勞をこつ事はないといはれてゐるので組織されども燒石に水で何等奏効合員は寄々後任組合長物色につせず、新任小田部署長も事情をいいて議をすゝめてゐるが、組合開いて見ると時期を待つより妙員間に一貫して有力な説は中堅案が浮ぶので明年一月組合長人物を拉して組合長とし一致開改選により斷乎たる改革をなす結して組合長を援け統制のこれべく密かに計劃をたてゝゐる。た理想的の組合を出現せしめや而して來春の總會に於て果してうとする計劃で、組合長に擬せ何人が組合長に選ばれるかは一られてゐる人は平町宮川義一、般で注意してゐる点であるが、吉田濱吉、渡部清氏等最も有力比佐組合長は既に再選される望で小田部署長もこの説には双手絶對になく、石崎幸一、宮川幸をあげて賛成してゐる模様である。吉、野崎、その他の所謂長老格。

## 水道の補助がのびて

### 湯本町弱り切る

#### 善後策協議會を開く

石城郡湯本町上水道工事は總工が、肝心の國庫補助八萬七千費三十六萬六千圓、内二萬三千圓(申請額)が果して全部頂戴で圓は事務交際費關係を以て昭和八年頃來地元選出代議士並びに町當一年六月起工事を擧げ昭和八年頃來地元選出代議士並びに町當一月竣工の豫定で鋭意工事を進局の猛烈な運動奏効して書類だめた結果豫想外に進捗して去るは漸く上局の手に廻つたらし九月末日工事は全く完成し今は、それも何時になつたらし竣工式を擧げる許りになつてゐるが、目下當局平水道部の水道料滞納差押物件

## 平窪公民學校

### 酒井助役が出席資金融通促進方

酒井助役が出席資金融通促進方を願ひ出る事になつたが、現在平窪公民學校では十四日午後六時から生徒の精神修養のため赤井嶽醫師に一泊影山教育主事の講演を聴取した。

## 年賀郵便取扱

### 成る可く早く出す事

平郵便局では例年の通り二十日の公賣は十五日執行されたが滞納者百五十六名二百七十圓九十九圓三錢をいざ公賣となると殆んど全部現金で持ち集まり残つたもの僅か十名で入札を見合せた。

## 低利資金

平町の中小商工業者救済低利資金間に合はぬ

## 公道處分

公道處分

## 公道處分

公道處分

## 公道處分

公道處分

金借入金額は百十萬圓、人員六百卅五名に達してゐるが、押迫つた年の瀬に未だ埒あかず明春まで持ち越されては一大事と各希望者は連日町役場に押かけて窮状を訴へてゐるので近日中に酒井助役が出席資金融通促進方を願ひ出る事になつたが、現在平窪公民學校では十四日午後六時から生徒の精神修養のため赤井嶽醫師に一泊影山教育主事の講演を聴取した。

## さのふバラ撒かれた 鐵道のボーナス

### 總額三万六千余圓 最高二十割、最低十二割

平窪關係のボーナスは十五日亭に送りそのまゝ汽車に乗りつ配布されたが、驛關係百六十七とけてゐるが、壽亭方では之を名で一萬四千三百四圓、機關庫知り所轄署に取押方を依頼した二百三十四名で二萬三千六百八のて手配中午後十一時半驛着列十八圓、保線區四十名で二千圓車内で兩名を發見平窪に捕はれ合計五百四十一名に對し總額三六千六百十二圓がバラ撒かれたりで女の實家に對し婿様として判官の最高は月給の二倍、最低一倍半、平均十八割、雇員最てゐたので平窪員も馬鹿さ加減四割でこの不況時代として一般から羨ましがられてゐる。

## 無情な夫を 尋ねる妻子

平窪前を十三日午後三時頃徘徊してゐる不審な女あるを驛前派出所員が取調へると右は福島市陣場町日雇三瓶磯吉の内妻富盛早苗三四で夫が十才を頭に四人の子供を残し去月二日情夫山田アサ(三〇)と駈落した、後は市役所の同情に絶つて糊口を凌いでゐるが、最近夫が平窪に同棲してゐるとの風聞にあてどなく尋ね廻つてゐるものと判明し捜査してやる旨を言ひふくめて先づ歸宅させた。

## 酒を出さぬ男

料理屋で暴れる男

平町南町の内深谷喜八坂本三郎(二八)が同夜紙幣を外套のボケ(二四)は十五日午後十一時頃平窪町南町飲食店入船事服部セツ方日午前六時頃同人の寢息を窺ひに至り無一文で酒を出せと暴れ現金五十圓を盗み出しそのまゝ見檢東されたが、同人は常にこの手段で飲食店を荒し廻つてゐたものである。

## 酌婦逃走

平町南町飲食店龜屋事高橋トヨ方酌婦(二四)は十五日午後十一時頃平窪町南町飲食店入船事服部セツ方日午前六時頃同人の寢息を窺ひに至り無一文で酒を出せと暴れ現金五十圓を盗み出しそのまゝ見檢東されたが、同人は常にこの手段で飲食店を荒し廻つてゐたものである。

## 農産品評會

夏井村農會主催農産品評會は十八日から三日間同村小學校に開催する。

## 夜警開始

平町白銀町青年團火防部では火災期に入つたので十五日夜から夜警を開始した。

## 前非を悔ひ

平窪に自首

## 眞面目な小作男

## 酌婦に迷つて駈落

## 女の實家に行く處を

## 昨夜平窪で捕はる

## 前非を悔ひ

## 平窪に自首

## 電話受たし

## 電話受たし

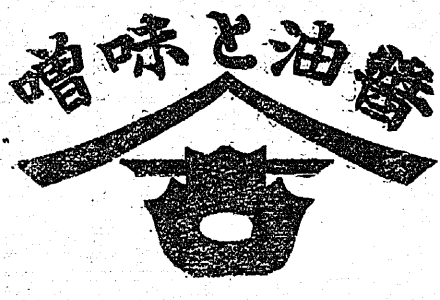
## 電話受たし

### 生命保険の相談所

秋山保険相談所支店  
 石城郡鹿島村(江尻中方)

一、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 二、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 三、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 四、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 五、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 六、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 七、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 八、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 九、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手  
 十、約請請求手続と同時に受取金立替、〇復活手

當所は會社と契約者との中間に立ち最も迅速に、最も確實に、最も善良なる相談相手として皆様の御用命を期待して居ります。



福島縣平町  
**山崎合名會社**  
 電話(營業部専用)一〇番  
 (一般用)二七番  
 振替東京一九七五番

三河産業博覽會  
 昭和三十二年博覽會  
**金牌受賞**  
 明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

吉原揚 **不藤賞**  
 電話一四一番  
 平町一丁目  
 折詰仕出し

### かまぼこ 折詰仕出し

御惣菜用さつま揚 吉原揚  
 藤市蒲鉾店  
 電話三〇五番

### 秘傳腫物湯

のんで効く 腫れ物の妙薬  
 主一、面癩、よう乳の腫れ、指のはれ、林巴腺の腫れ  
 二、耳のおでこ、骨膜炎、筋炎、はれ物手術の前後  
 三、等し、特にかほのおでこ、乳のはれは切らずに治り腫れ  
 痕を消さず美容上最適の治験あり  
 定價 五十銭 七十銭 一圓十銭 一圓五十銭  
 特約店 平町四丁目 小野薬店 四ツ倉町 荒川薬店  
 植田町 松本薬店 富岡町 莊野薬店  
 湯本町 岩瀬屋薬店  
 腫物湯製劑所 茨城縣下孫 磯野健生堂

### 安齊外科醫院

元赤心堂病院跡  
 電話四七五  
 入院隨意(自炊の便あり)

### 安齊外科醫院

病室完備  
 電話一二九番  
 上田外科醫院

### 磐城無盡

誠意 信用 責任  
 大藏大臣 許免  
 電話一七〇番

### 胃腸科 松村

内科 専門  
 十二指腸 腸胃病  
 皮膚病 婦人病  
 電話一七〇番

### 三本信用無盡會社

電話七四番

### 高久病院

平町田町(電話五一三番)  
 醫學士 高久 忠  
 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥劑士 佐竹 菊雄  
 内科小兒科 外科花柳病科  
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

### タクシー界の寵兒

**皆様の昭和!!**  
 いつも新車にて御目見得  
 致します  
 倍舊の御負担、御聲援願ひます  
 昭和三十二年  
 電話三四三番

### 吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番  
 耳鼻咽喉科 専門  
 氣管食道科 専門  
 病室完備、自炊の便あり  
 電話一七〇番 大和田醫院